

トラブルシューティング

トラブル内容: ガスカートリッジがバーナーに接続できない

- 原因1: ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
(解決法) ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。
- 原因2: ガスカートリッジのねじ部分が傷んでいる。
(解決法) 新しいガスカートリッジに取り替えてください。
- 原因3: バーナーのバルブのねじ部分が傷んでいる。
(解決法) 販売店、もしくは当社までご相談ください。

トラブル内容: ガスが漏れている

- 原因1: 火力調整つまみが完全に閉まっていない。
(解決法) 火力調節バルブを完全に閉めてください。
- 原因2: ガスカートリッジが完全に接続されていない。
(解決法) ガスカートリッジをバーナーの底部にねじを締める要領でしっかりと取り付けてください。この時、締めすぎに注意してください。
- 原因3: バーナーのOリングが傷んでいる。
(解決法) 販売店もしくは代理店までご相談ください。
- 原因4: バーナーのバルブ部分が傷んでいる。
(解決法) 販売店もしくは当社までご相談ください。
- 原因5: ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
(解決法) ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。

トラブル内容: 点火しない

- 原因1: ガスカートリッジが空、もしくは空に近い。
(解決法) 新品、又はある程度容量の残っているガスカートリッジと交換してください。
- 原因2: 使用場所の気温が非常に低い。
(解決法) 低温下ではガスが気化しにくくなります。両手でガスカートリッジを暖めてみてください。カートリッジは雪や氷の上で使用しないでください。
- 原因3: 点火装置が機能しない。
(解決法) バーナーヘッドの内側(メッシュの部分)に火花が飛び着くよう、点火装置をペンチを使って適切な位置に調節します。バーナーチューブと点火装置の間にゴミ等があれば取り除いてください。それでも点火しない場合は点火装置を新しいものに交換するか、ライター等で点火を試みてください。

- 原因4: バーナーのガス吹き出し口が詰まっている。
(解決法) 1. 火力調節つまみを閉じ、ガスカートリッジをバーナーから取り外します。
2. バーナーヘッド自体を反時計回りに回し、ねじをゆるめた後、プラスチックシェード下側に火力調節バルブを取り外します。
3. 火力調節バルブの上部にある六角ナットをレンチで取り外し、ナット中心にある極小のピンホールに息を吹き込んでほこり等を取り除きます。その際、針金やピンや先端が尖ったものなどは絶対に使用しないで下さい。ガス吹き出し口のピンホールは大変傷つきやすくダメージを受けた場合は安全にご使用頂けなくなります。※レンチがない場合、金属ベースプレートから着火装置を抜き取ったあとの六角形の穴をレンチとして使用することが出来ます。(金スチップシェードの取り外し方: バーナーヘッドを持ち、ゆっくりと着火装置ごと持ち上げブラフ属ベースプレートから抜き取ります。)
4. 清掃後、バーナーをセットアップしてガス漏れが発生していないか確認して下さい。

トラブル内容: ストープが炎上した

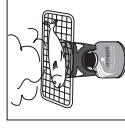
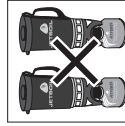
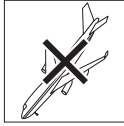
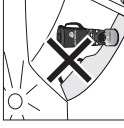
- 原因1: 本体を使用中に移動させた。
(解決法) 使用中は絶対に揺すったり傾けたりしないでください。
- 原因2: ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用していない。
(解決法) ジェットボイル専用のガスカートリッジを使用してください。
- 原因3: ガスカートリッジがきちんと接続されずガスが漏れている。
(解決法) ガスカートリッジをきちんと接続する。

トラブル内容: 消火できない

- 原因1: バーナーが傷ついている。
(解決法) 火力調整つまみをできるだけ強く締め、火を吹き消し、火の気のない場所で素早くガスカートリッジからバーナーをとりはずしてください。その後、販売店もしくは当社までご相談ください。

危険!

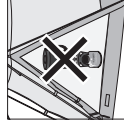
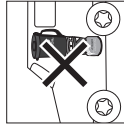
- ・ガスカートリッジは熱や直射日光、また発火の原因となるものに近づけないでください。爆発する危険性があります。
- ・ガスカートリッジは幼児の手の届かない所に保管してください。
- ・ガスカートリッジの運搬・保管は直射日光を避け、40℃以下で湿気の少ない風通しのよい場所にキャップをして保管してください。特に車のダッシュボードやトランクルームは爆発の危険がありますので、絶対に放置しないでください。



- ・ガスカートリッジは必ず水平で安定する場所で使用してください。
- ・セラミック製品や鉄板、網等をバーナーに使用しないでください。



危険!



ガスの燃焼によって一酸化炭素が排出されます。一酸化炭素により死に至る可能性が非常に高いです。テント内、本製品は風通しのよい屋外で使用してください。車内、室内など、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。

アフターサービス

- お買い求めいただきましたジェットボイルは万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせください。また、ご購入いただいた販売店、もしくは当社までご連絡ください。
- 製造上の欠陥による不具合の場合は無償で修理、もしくは交換いたします。なお、修理、交換等の判断は弊社が検査し、裁量させていただきます。
- 以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。
- ・本製品の誤った使用方法によるもの。
 - ・メンテナンス不良、経年変化による素材劣化。
 - ・乱暴な取り扱いによるもの。
 - ・改造品。
 - ・他社ガスカートリッジとの組み合わせによるもの。
 - ・その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの。

ご使用前の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。誤った使用の場合、使用者本人及び周囲の方々の死にいたる事故の原因となる恐れがあります。

調理と加熱

ジェットボイルのバーナーには付属の専用のクッカーを使用してください。他のクッカーを使用する場合には専用のゴトクを取り付けてください。ジェットボイル本来の性能を発揮するためには付属の専用クッカーの使用をお勧めします。

1. 専用クッカーの準備

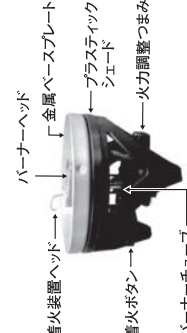
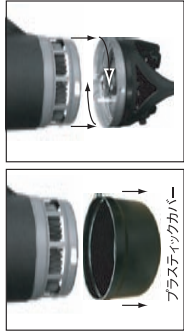
まず専用クッカーの底に付属される黒のブラスティックカバーを回しながら取り外します。ブラスティックカバーがきつすぎて取り外しにくい場合、カバーにあるタブ（突起）を少し削り、取り外しのしやすいように調節してください。

2. 食材投入

次に専用クッカーに液体もしくは液状の食材を入れます。ジェットボイル専用クッカーは液状の食材の調理専用です。油で揚げなど、油を使用する少量の水分の少ない食材を炒めるなどの調理はしないでください。本体が過度に加熱され、破損や火傷の原因となる恐れがあります。

3. 点火

バーナーに点火する際は、まず火力調節つまみをゆっくり反時計回りに30〜45°程度回し、少量のガスを出して素早く点火ボタンを押し、点火を確認します。一度で点火できない場合は、火力調節つまみを一旦閉じてからやりなおしてください。次に適切な火力になるよう火力調節つまみを回し調節します。時計回りに回すと火力が強まり、力が弱まり、反時計回りに回すと火力が弱まります。ゴトクと他のクッカーを使う時は、あらかじめゴトクをセットして点火します。



4. バーナーへのセット

専用クッカーに液体、もしくは液状の食材を入れた後、排気口下部にある2つのジョイント穴をバーナー金属ベースプレート箱内側の小さな突起部分に合わせて専用クッカーをバーナーに取り付けます。その後専用クッカーを時計回りに回し、ロックされたことを確認してください。ゴトクと他のクッカーを使用する場合は、ゴトクをクッカーのせめます。

5. 過熱中の取扱

加熱中は専用クッカーのふたをきつ閉めないでください。加熱中にふたが吹き飛び恐れがあります。また加熱中は防風カバーやゴジー（ネオプレンカバー）で専用クッカー下部の排気口を塞がないよう注意してください。ゴジーが燃えたり、ガスカートリッジが過剰過熱され爆発する恐れがあります。

調理終了後の作業について（消火方法）

1. 火力調整つまみを時計回りに回して閉めます。火を確実に消し、またガス漏れを防ぐため、しっかりと閉めてください。
2. 次にバーナーから専用クッカーを取り外します。バーナーの黒いブラスティックシェード部分を持ち、専用クッカーを少し反時計回りに回してロックを解除してください。この時、手が金属部分に触れないよう気を付けてください。使用後は非常に熱くなっているため、火傷する恐れがあります。
3. 火傷と中身の冷さを防止するため、黒のブラスティックカバーを専用クッカーの底に装着します。ジェットボイルをその後まですぐに使用する場合は、バーナーにガスカートリッジを取り付けたまま水平面に置いてください。

使用後の収納について

1. 使用後は、ガスカートリッジを取り外し、カートリッジキャップを取り付けて、熱や直射日光、また引火の原因となるものから離しておいてください。
2. 本製品を取り外す際には、必ず火を止めて完全に冷ましてください。火の点いたまま、又は火を消してすぐに取り外し作業を行った場合、火傷等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

3. 専用クッカーを冷ました後、洗ってよく乾かします。
4. バーナーに折たんだスタビライザーを収納します。（図C）
5. ガスカートリッジにゴトクを乗せ、カートリッジキャップを取り付けます。
6. 専用クッカーにバーナーを入れて収納します。

7. 専用クッカーにはガスカートリッジを収納することが可能ですが、必ずバーナーから取り外して収納してください。結合したままでは振動で火力調節つまみがゆるみ、ガス漏れする可能性があります。

専用クッカーに収納時は、必ずブラスティックキャップをしたガスカートリッジを先に入れて、その上にバーナーを収納してください。次に使用する時は、専用クッカー内にカートリッジが入っていない事を必ず確かめてください。誤ってカートリッジを加熱してしまうと爆発する恐れがあり大変危険です。ガスカートリッジは空になるまで絶対に捨てないでください。また熱から遠ざけた安全な場所で保管してください。

点検・手入れのしかた

1. 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
2. 使用前の前にオリングに損傷が見つかった場合は本製品の使用を停止してください。オリングの損傷部分よりガスが漏れ、出火の原因となる恐れがあります。
3. バーナー部分が汚れたら布等でふいて掃除してください。
4. 故障または調子の悪いものは絶対に使用しないでください。



クッカーは絶対に空焚きしないでください。

1. 専用クッカーの内側に表示される「SAFE LINE」のラインを超えて、スープや水などの液体や食材を入れないでください。また、調理の際は中に入れた液体や食材が吹きこぼれないよう、火の加減には特に注意を払ってください。火傷の原因となる恐れがあります。

雪を溶かして水を作る場合は、まず200cc（コップ1杯分）程度の水を専用クッカーに入れてこれに少しずつ雪を加えるようにして溶かしてください。直接、雪だけを入れた専用クッカーを点火したジェットボイルにかけるとは絶対にしないでください。

1. バーナーへの点火は必ず専用クッカーをセットする前に行ってください。専用クッカーをセットしたまま点火すると炎の大きさが確認しにくいため、ガスを必要以上に出しすぎ、過度の加熱をしてしまう恐れがあります。点火作業は手をできるだけ伸ばして行い、バーナーに顔を近づけないよう注意してください。点火時にバーナーから勢いよく火が吹き出し火傷を負う危険性があります。

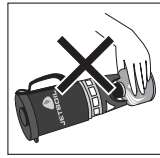
1. 使用限度（容量・重量23cm/3liter/3kg以上）の調理器具を使用しないでください。またスタビライザーは必ず装着して使用してください。

1. 専用クッカーとゴトクは同時に使用しないでください。

1. 加熱中に本体を持ち上げた時傾けることは厳禁です。ガスが吹き出し炎上する原因となり、重度の火傷を負う危険性があります。

1. 吹き出し炎上する原因となり、重度の火傷を負う危険性があります。また、使用中は半径1メートル以内に燃えやすい物を置かないでください。火が燃え移る危険性があります。

1. 揚げ物や炒め物はしないでください。



ジェットボイル・バーナー本体のセットアップ

1. セット前の確認

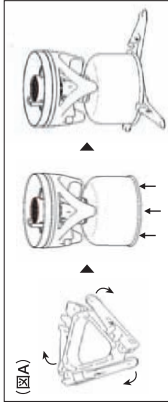
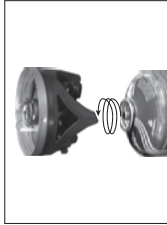
まずはじめに、バーナーの火力調整つまみがしっかりと閉まっているかどうか、またオリング（カートリッジと接合する部分のゴムリング）にゴミの付着や亀裂などの損傷がないかを確認してください。ガスカートリッジはジェットボイル専用をご使用ください。それ以外のガスカートリッジを使用した場合、ガス漏れによる出火・爆発の危険性があります。また、他社製の大型ガスカートリッジ（41 oz./120ml以上）を使用すると高い濃度の一酸化炭素が排出されますので使用しないでください。

2. カートリッジの取り付け

次にガスカートリッジのキャップを外し（キャップは捨てないでください）、カートリッジ上部を上にした状態で、バーナーの底部分にねじを締め、確実に取り付け付けます。この時、自然に止まるよりややきつめに締めてください。ただし締めすぎに注意してください。

3. スタビライザーの取り付け

スタビライザーを広げ（図A）のようにガスカートリッジに取り付けます。セットしたジェットボイルは安定した水平で熱くない場所に置いてください。



ゴトクの取り付け

ゴトクの4ヶ所のソックスの切り込みを（図B）のように合わせ、バーナー本体に取り付けます。

